

輝く女性

2009.7.27

夕方6時過ぎ、雨のやみ間を縫ってジョギング開始。いつもの農道にさしかかる。田んぼに女性の姿。年の頃は65歳前後か。梅雨でぐんと伸びてきた稲にまわりつく雑草を、腰をくの字に曲げて抜いていた。7時前、女性はやれやれという風にあぜ道にあがってきた。

私は足を止めて声を掛けた「こんにちは」。

「ご苦労様です」女性は頭を下げた。

「大変ですね。腰が痛いでしょう」

「本当、痛いですよ」

少しの間をおいて私は言った「失礼します」

今夕出会ったこの女性は、目立たないが大切な業（なりわい）を、毎日黙々とこなしている。

宮里藍

2009.7.27

宮里藍がアメリカツアー4年目にして初優勝。今までの4年間が無駄ではなかった、キヤディさん、家族、ともだち多くの方が力になった、そういう趣旨の発言をしていた。そのとおりだと思う。

宮里藍は優勝という結果が出た。だからそう言える。では、今回優勝できず、これからも優勝できなかつたら意味はないのか。意味は薄いのか。

そうではない。優勝できなかったとしても、そこに意味を見だし、値打ちを見いだすことこそ、人生の達人といえる。なぜなら、人生には、勝つ負ける、いい悪い以外の価値のほうがるかに多いのだから。